

①日本にはすばらしい言葉がある、それは「おかげさま」という言葉。「かげ」は目に見えないが確かに存在する大いなる力のこと。すべてに護られていることを「おかげさま」と言う。先日、中学生にお話したら聞いたことがないとの返答でした。

②手に力が入る、足に力が入ることはあたりまえのことと想っている方が大半かもしれない。もう六年も前になるが、四人で焼き鳥をいただいた。美味しいお店でひとり15本位いただいたかもしれない。ところが翌日帰郷してから体調が思わしくない。他の3人も大なり小なり体調がすぐれない。私はだんだんと手足に力が入らなくなり、ライターもつけられず原付バイクのスタンドも立てられなくなり、階段も思うように上がれず、両膝両肘額を畳につけてのお拜もできなくなった。秋彼岸や葬儀で開業医に行くのが焼き鳥をいただいた日から11日後になり、診断の結果はギランバレー症候群とのこと。即入院を余儀なくされた。千人に一人位の確率で大当たりです。

③自分の免疫の働きが外部からの鶏肉の中のカンピロバクターという異物を攻撃しないで、表面の成分が類似している自分の末梢神経を攻撃したことが原因で、自己免疫疾患です。今は握力が42キロ位あるが、入院当初は7キロでした。ペットボトルのフタを開けることができない。免疫グロブリンの点滴治療により13日間の入院で退院時には23キロまで握力が回復した。

④手に力が入る、足に力が入ることはあたりまえのことではなかった。神経が犯されただけでも手足に力が入らない。私の手でありながら、私の足でありながら、力が入らない、どうすることもできなかった。気づいてみれば、神経はじめ身体全部のおかげにより力が入る、動くことができるということを教えていただいた。

演題 〳 あたりまえはおかげさま

対象 〳 一般

法 〳 おかげさま〳一即一切、一切即一 私の手でありながら私の手でない

話の流れ 〳

①おかげさまの意味

②例話〳私の体験話

③ギランバレー症候群

④あたりまえはおかげさま。